

今月のテーマ「力のつく勉強法」

どの瞬間で、どんな場面で実力がついていのか いま一度 勉強法を見直し、合格を引き寄せよう

入試本番まで残り時間が少なくなってきました。
焦りを感じている人もいるかもしれませんが、皆さんの力はまだまだ伸びます。
ただし、そのためには、いま一度勉強法を見直す必要があるかもしれません。



家で復習する時に、力はいくら伸びる
今回はタイトルにあるように皆さんの実力はいつどの段階で付いているのかについて考察してみよう。
たとえば学校の授業です。先生の話を集中して聞いたとします。その段階でも力は付いているでしょう。また質問されてその答えを一生懸命考えたとしても、もちろんその時力は付いているでしょう。あるいはまた問題を解いてそれを必死で解いたとします。ここでも力は付くはずですが、ここまでで完結してしまえば、このまま入試に臨んで大丈夫でしょうか。やはりこれだけと少し不安が残ると思いませんか。何かやり残していますか。
そうですね。助のいい人はもう分かったでしょう。家で、自力で、復習することが必要なのです。この瞬間に真の実力としてあなたの中に定着するのです。短い時間でいいですから必ず復習しましょう。

過去問学習は、解いたその後から始まる
次に過去問集に取り組み場面を考えてみましょう。
まず問題を解きます。この時、頭は高速回転しているでしょうから、たしかに力は付いているでしょう。しかし、問題を解くことで得られるのは、自分の頭の中にある知識の確認に過ぎないとも言えます。
さらに力を付けるには、解けなかった問題や間違えた問題を自力でできるようにしなければなりません。解いて答え合わせしただけでは過去問練習をしたとは言えません。力を付ける作業は、過去問を解いたその後から始まるのです。
解説は何度も読んでください。教科書も繰り返し読んでください。それでも分らなければ先生に質問してください。

友達と質問し合う時の注意点
皆さんは友達と一緒に勉強することはありますか。授業中は当然友達と一緒にですが、それ以外の場面という意味です。もしそのような場面があったらぜひ試してみてください。それが質問をし合うことです。
その場合、質問は単純な一問一答では駄目です。まったく意味が無いとまでは言いませんが、効果は高いとは言えません。
おすすめは「〜について説明してください」といった質問です。たとえば「平安時代の文化について」と「太陽暦と太陰暦について」といった形です。聞かれた方は、それについて知っていることを分りやすく説明します。
この時、説明できたことは頭の中に入っている事柄です。それを整理し相手に分りやすく説明することで、さらに確かなものになります。つまり力が付きます。
また、説明できなかったことは頭の中に入っていないかということになります。課題が明確になったわけですから、すぐに復習しましょう。
なお、この方法は、自分一人でもできます。自分で質問して自分で答えればいいのです。
要するにここで述べているのは、これまで何度か繰り返してきた「アウトプット」の重要性です。覚えること（インプット）に夢中で、それを外に出すことを怠ると力は付きません。



第102回全国高校サッカー選手権神奈川大会予選の決勝が11月12日にニッパツ三ツ沢球技場で行われました。1対0で桐蔭学園高校に勝利し、2年連続7回目の全国選手権へ切符を手に入れました。決勝当日は700名を超える応援団とダンス部によるパフォーマンスで、応援席を桜色に染め、学校全体が一丸となりました。(写真・文：学校寄稿)

過去に受けた模試を解き直す
模試を受けたときは、できればその日のうちに、できなかった問題を解き直しましょう。これもまた力を付けるために欠かせない作業です。模試問題は過去の傾向に基づいて作られています。したがって、本番入試でも同様の問題が出る可能性はあります。つまり予想問題としての性質も併せ持っているのです。偏差値や合格可能性を見て終わりにせず、必ず解き直さなければなりません。以上、皆さんの力がどの場面でも付くのかを考えてみましょう。この中で皆さんがこれまでに受けた模試や実力テスト、学校の定期考査についても同様です。

焦らず繰り返し返せば、必ず結果は出る
以上、皆さんの力がどの場面でも付くのかを考えてみました。この中で皆さんがこれまでに受けた模試や実力テスト、学校の定期考査についても同様です。

とがあれば、今からでもいいですから始めてください。やった分だけの結果は必ず出ます。残された時間は決して多いとは言えませんが、焦らず、一歩ずつ前に進みましょう。それ以外に合格を手にする方法はありません。

ys media
【よみうり進学メディア】
<https://ysmedia.jp/>
発行/©(株)読売エージェンシー
東京都千代田区富士見 2-1-12
03-5226-9915
編集協力/(株)メディアバンク
(社)かながわ民間教育協会

2023年 神奈川版 12月号

先輩に聞いた受験生へのアドバイス 神奈川県の高校生からアドバイス	2面
受験直前 必須！確認事項	3面
面接対策アドバイス 「面接では何を質問されるの？」 「面接のコツはありますか？」	
受験生と保護者の疑問に答えるQ&A	4面

ys media
よみうり進学メディア
WEB版
高校レポート・入試情報等
受験に役立つ情報を掲載中！
毎日更新中!!
<https://ysmedia.jp/>

楽しくなければ 学校じゃない!

夢・挑戦・達成
学校法人 創志学園 **クラーク記念国際高等学校**

好きなことをやり抜くからこそやる気がわく。自信がつく。

週5日通学

- 総合進学コース
- インターナショナルコース
- eスポーツコース
- プログラミングコース
- スポーツコース
- 女子ラグビー専攻

上記の他、週2～5日通学のコースもあります。

学校説明会 ご予約はホームページから受け付けております。
※定員制

12/9(土)・1/13(土)・1/20(土)・2/3(土)

説明会内容 学校紹介、入試説明、在校生による学校生活の紹介、個別相談

〈横浜キャンパス〉
横浜市西区桜木町4-17-1
TEL:045-224-8501
<https://www.clark.jp/yokohama/>

スイスイ、イキイキ、カシマの通信

●全国に広がる学習等支援施設●
●良心的な学費●通学定期の利用可●
●通信制でも週1～5日通学可●

- 鹿島学園高等学校**
鹿島学園専用入学相談室 TEL.029-846-3212/050-3379-2235
- 鹿島朝日高等学校**
入学相談室TEL.086-726-0120
- 鹿島山北高等学校**
入学相談室TEL.0465-78-3900/050-3655-0278

学習拠点 横浜・厚木・藤沢・溝の口・川崎・日吉・青葉台・戸塚・能見台・港南台・磯子・二俣川・中山・新横浜・相模原・橋本・逗子・横須賀中央・久里浜・小田原・平塚・稲田堤・由比ガ浜・大和山北・大船・新百合ヶ丘・鶴見・根岸・上大岡・鎌倉・都筑ふれあいの丘・武蔵小杉・中田他全国300キャンパス

www.kg-shool.net

